

JARP



日退協

第5号

埼玉会だより

平成27年8月発行

「埼玉会6年目を迎えて」

埼玉会代表幹事 関根 貞夫



(関根氏撮影の「花火」)

昨年、日退協は設立30周年と公益社団法人として4年目を迎えました。

その歴史は「マチュリテイ100号」誌に詳細に記されております。諸先輩の功績に敬意を表したいと思います。

「埼玉会」は、神奈川会に続く2番目の地域会で、平成21年11月に発足しました。その後「西東京会」

「京葉会」が発足し地域会の役割が大きく変化してきました。埼玉会在住会員は設立時より倍増の115名となりました。

世話人は、月1回17名で開催しております。『埼玉会だより』は5号になり、会員の双方向の情報交換の一つとして皆様からのご意見を期待しております。

本年度は、地域社会やNPO法人との交流を重ね、お仲間を増やしていきたいと考えております。

会員皆様のご協力をよろしく願います。

ご来道をお待ちしています

埼玉会の皆さん、お変わりないことと拝察します。早いもので、こちらに転居して9カ月が経過しました。一週間単位で月日が過ぎ去って行く感覚です。厳しい寒さを覚悟していた昨冬は暖冬で助かり今は、年間で一番凌ぎやすい時期を迎えています。そちらに居た頃と比較すると、生活のテンポが様変わりです。生活のリズムがスローになり、外食の機会も激減です。まるで、仙人のごとき清貧に甘んじています。

さりとして、閉じ籠るにはまだ早いので、足腰の衰えに気を配りつつ、頭の体操に4月から川柳を始めました。また、是道先生に手ほどきをいただいた詩吟についてもこのまま止めてしまうのは勿体ないので、近くの吟社へ通っています。

(ゴルフはめっきり減って、今年3回のラウンドです)

最近、割と高得点をもらった駄吟(川柳)は

総理どのそんなに急いで何処へ行く です。

好期到来の当地へ、どうかお出かけ下さい。お元気で。

埼玉会特別会員 岩淵 芳夫 (札幌市在住)



埼玉会イベントのご案内

イベント幹事 地畑 健吉

平成27年10月27日(火)に第24回イベント(秩父シリーズ No.4)として「三峯神社・拝殿回廊」を拝観するバスツアーを行います。川越駅10時集合、18時解散の予定。

三峯神社は美しい自然が残る秩父三峰山の近くにあり、歴史は古く、日本武尊が創建したと伝えられています。神社に向かう山道の両側に続くのが、鬱蒼と茂る杉や檜の木立。15分ぐらい歩き、約200年前の仁王門である壮大な隨身門をくぐって参道を進むと拝殿に行き着きます。人々が願いを込める拝殿は極彩色の彫刻で飾られた権現造り。その奥には県指定文化財の間社春日造りの本殿があります。銅板の屋根、朱塗り壁、柱の上部も彩り鮮やかで格調の高い建造物です。このほか、奥宮を拝殿する遥拝殿など歴史的建造物が数多く残されています。

これから予定している今年度のイベントは次のとおりです。その都度、詳細なご案内を致します。「参加」希望者は次のページ巻末の事務局まで①e-mail または②FAXで申してください。

- ① H27.9.9(水)「妻沼聖天院歎喜院と 荻野吟子記念館を訪ねて」(第23回)
- ② H27.9.28(月)「第16回埼玉会ゴルフコンペ」
於:武蔵 OGM・CC
- ③ H27.10.27(火)「三峯神社・拝殿の回廊」
-秩父シリーズ No.4 (第24回)
- ④ H27.11.30(月)「第17回埼玉会ゴルフコンペ」
於:武蔵 OGM・CC
- ⑤ H27.12.3(水)「秩父夜祭り」-秩父シリーズ No.5
(第25回)
- ⑥ H28.1.初旬「初詣・新年会」
初詣:氷川神社(川越又は大宮)
新年会:「はなの舞」(大宮)
- ⑦ H28.2.中旬「川口市工場見学会」(予定)

納涼会に参加して (2015.8.6)

新井 美枝子 (川口市)

2月に本田技研工場見学に初参加して「エっ、男性ばかりじゃない？」が最初の印象でした。又、4月には岩槻城址公園でのお花見、6月にキッカーマン野田工場見学、今回は8月6日納涼の会です。高温注意報が続くまさに納涼会にふさわしい日でした。午後4時集合。少し早かったので大宮改札を出て女3人でウィンドウショッピングした後、目的の地下の店「はなの舞」に着きますと何人かもう既にお見えになっていました。エアコンが強くなり涼しくなりました。アルコールが飲めない私は、美味しいお料理を沢山頂きました。初めての方達と出会って色々なお話が出来た、あっという間の2時間でした。楽しい一時をありがとうございました。

「川越とさつま芋」

古谷 信雄 (川越市)



首都圏に近く便利な観光都市として川越の名は最近随分ポピュラーになっています。江戸時代初代川越藩主酒井 奕が赴任して以来「城下町」の機能と新河岸川の「舟運」を利用して武蔵の国西部地区の物資を江戸に送る特に食材で江戸の台所を賄って来た街である。食材で有名なものとしての芋は高名な青木昆陽により飢餓等に備える食材とし発展し、特に川越周辺の芋は江戸人の好みにも合い「栗(九里)より(四里)うまい(十三里)」(川越から江戸まで(50km=十三里程)と呼ばれ人気を博した。さてその中心種芋の紅赤(サツマ芋の女王と呼ばれてた)は中国、種子島、鹿児島、江戸と伝わって来た種が二十世紀中途浦和針ヶ谷の農婦が従来種の変種として収穫した数株を種芋としたもので味の良さが評判になり作付面積が増大し今日の川越地区のサツマ芋=紅赤となったものだそうだ。又栽培地についても研究され最適地としては関東ローム層の水捌きの良い土地が良い土地と解り風情ある武蔵野の雑木林の残る栽培地域が増えて行き、今では川越の今福地区、さらに南に拓けた所沢の中富下富地区旧美芳町上富地区が中心で、収穫時期になると通称「いも街道」と呼ばれる程直売農家が軒を並べている。そもそも江戸で評判になった頃さつま芋は焼き芋中心だったが現在は菓子類の素材とし観光土産の中心で、その種類の多さは驚く程多彩です。しかし意外なことに従来からの冬の風物詩の焼き芋の材料は鹿児島等々産の芋で、川越芋では採算に厳しい等の理由で必然的にそうなったようだ。川越芋は芋の中でも高級食材に評価されるようになったのかも知れない。ともあれ川越の芋菓子の多彩とその味の美味を確かめるに2、3品を食すれば必ずや川越芋のファンになることは間違いないと思う。ぜひ川越に来られ「観光」と「イモ」を楽しまれて下さい。

埼玉会の会員状況

平成27年3月末の会員数は112名(関東全体634名)で、うち女性は20名、また70歳未満の会員は約3割となっています。前年度の新入会員は13名でした。今年度は7月末現在での新入会員12名、退会者5名です。今年度も20名の会員拡大を目標に取り組んでおります。資格、条件は特にありませんので、会員のみなさまからお知り合いに声がけし、お誘いくださるようお願いいたします。特に女性、退職を間近にした現職若手の方も大歓迎です。連絡は事務局まで。お待ちしております。

(6月以降入会者)

藤平千代子(中川洋子) 渋谷保司(中川洋子)
水上義文(関谷一郎) 秋山武芳(関根貞夫)

※他地域会へ6月以降のご紹介は、手嶋良夫(伊藤春江)、水野正男(関根貞夫)の2名で通算6人です。

会員対策幹事 関谷 一郎

埼玉会会員にはこんな人材も…

吉田 徹氏「理研きのこ党员」…川越市在住

…道端のきのこに熱中する ~きのこ愛好家~

理化学研究所出身、専門は国際特許関連業務。幼少期より「キノコ」に興味を持ち、理研在職中も現在も時間を割いては研究所内を始め日本中・世界中の山や道端を散策し、新「キノコ」発見に余念がないとか！

理研ニュース(1994年1月号)に「きのこ騒動記」が投稿されている。(http://www.riken.jp/pr/publications/news/backissues/) “毒きのこの実食体験”し“おまる抱えて3泊4日の入院生活”を余儀なくされ、九死に一生を得たとか…。自称『きのこ(狂)の吉田』で通っている！！

奥さんは、「きのこ保険」がないとボヤイテいるとか？！

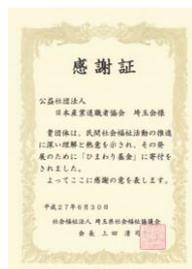
「きのこ」に興味のある方、埼玉会『きのこ愛好家党』でも立ち上げて下さい？

4月の理化学研究所見学の折は、吉田さんにご案内を頂きました。

紹介者: 関根 貞夫

※「きのこ騒動記」はインターネットで、「理研ニュース」バックナンバーを検索し、「1994年1月号」と進むと掲載されています。ここでは、吉田亨氏のペンネームで投稿されています。

ワンコイン運動



県社協からの感謝指証

埼玉会の各種イベントやゴルフコンペの際に集まったワンコイン募金45千円を昨年同様、6月30日に関根代表幹事、畠山事務局長が社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会の「ひまわり基金」に寄付いたしました。

この「ひまわり基金」は県内の各種社会福祉事業推進のため複数の団体に配布活用されるもので、皆さまの善意が有効に生かされるものです。埼玉会の活動とワンコイン運動の継続が望まれます。ご協力ありがとうございました。

埼玉会事務局

平成27年度埼玉会世話人一覧表

代表幹事	関根貞夫	さいたま市大宮区 (本部専務理事)
幹事	伊藤春江	越谷市
	薄井 繁	狭山市
	倉片厚子	川口市 (本部理事)
	菊池正美	上尾市
	関谷一郎	さいたま市浦和区
	高島興二	所沢市
	高橋 淳	坂戸市
	地畑健吉	鶴ヶ島市
	中川洋子	さいたま市大宮区
	野ヶ山信和	川口市
	萩埜 孝	桶川市
	畠山忠昭	川口市 (本部常任幹事)
	日高三誠	さいたま市南区
	平松 廣	坂戸市
	星 洋一	蓮田市
	森 秀雄	さいたま市西区

発行者 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会
代表幹事 関根 貞夫
事務局長 畠山 忠昭
事務局 〒332-0031 川口市青木1-22-17-902
TEL&FAX 048-259-5917
e-mail jap_saitama@yahoo.co.jp

≪埼玉俳壇≫

母の齡いくつ越えしか門火焚く

地畑 朝子